

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和 年 月 日

協議会名： 会津美里町地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③計画策定等に向けた方針
【事業内容】 (1)地域特性分析 (2)公共交通の実態の整理 (3)各種調査の実施 (4)現行計画の検証 (5)公共交通の問題点・課題点の整理 (6)課題を踏まえた基本方針の検討 (7)地域公共交通会議の開催(3回) 【結果概要】 (1)既存資料から、本町の地勢・沿革、人口分布や人口特性、主要施設の立地などの地域特性を把握・整理した。 (2)既存資料により、既存公共交通の運行ルート・運行本数・運行ダイヤ・結節点、乗降などの現状を把握・整理するとともに、運行収支なども整理し、町の負担額を把握し分析した。 (3)各種調査により、公共交通に関する実態やニーズを把握した。 (4)本町の上位計画である「第4次会津美里町総合計画(策定中)」や「会津美里町都市計画マスタープラン」、その他関連計画との整合性を図り、現計画に位置付けた施策・事業等の実施状況を整理した。また、現計画の数値目標に対する達成状況等を整理した。 (5)(1)～(5)までの調査を踏まえ、本町における公共交通の問題点等を把握し整理した。 (6)公共交通の課題点を踏まえ、本町における公共交通の基本方針や基本目標を検討した。また、基本目標の達成度合いを測るための評価指標及び数値目標を検討した。 (7)各種調査結果を報告し、調査結果を踏まえた上で基本方針、数値目標、計画骨子案を検討した。令和7年2月には第4回目の会議を開催し、基本方針、数値目標を決定する。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された(される見込み)。	令和6年度は交通実態の整理や町民、事業者、関係機関等を対象とした各種調査等により公共交通の問題点や課題点を整理し、基本方針及び数値目標を定めた。 令和7年度以降は利用者の意見や需要を踏まえ、基本方針の実現に向けた施策を事業者及び関係機関と協議・検討し、地域公共交通網の形成・再編を検討する。 計画作成にあたっては、利便性や需要を重視するとともに、事業者の人材不足等も踏まえ、将来に渡り持続可能な公共交通体系の構築を目指す。 なお、令和7年度に検討する施策の内容を踏まえ、計画期間中の確保維持事業(地域内フィーダー系統)の活用を見込んでいる。